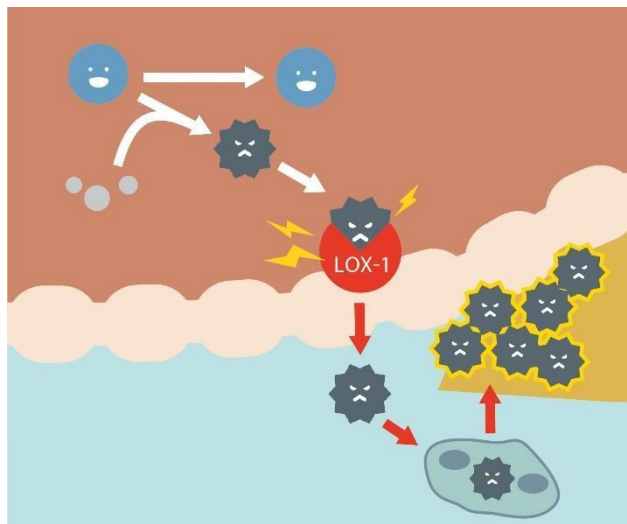
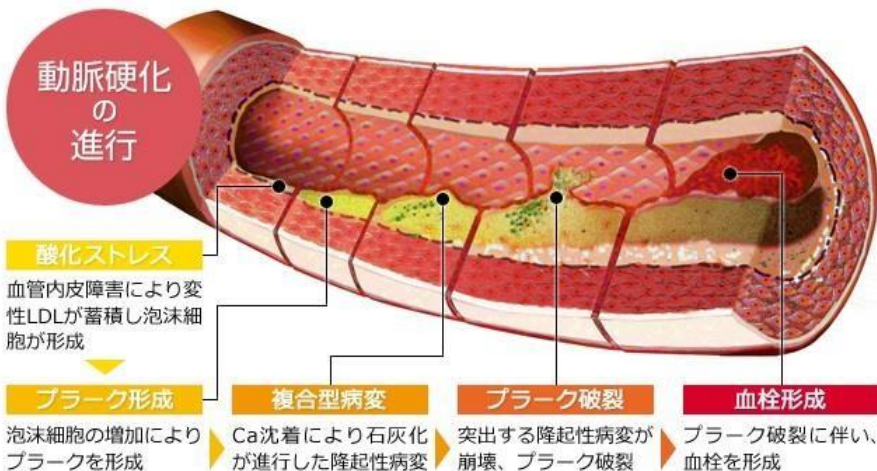


今後10年の脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを血液で調べます

LOX-index[®]は、
動脈硬化の進行から
将来の脳梗塞、
心筋梗塞の発症までを
予測できる
新しい血液検査です。



測定物質

動脈硬化に関連する変性LDLとLOX-1という2つの物質を調べることで、動脈硬化の進行具合から将来の脳梗塞・心筋梗塞のリスクを判定する血液検査です。

動脈硬化は自覚症状がないまま進行する場合が殆どであり、ある日突然脳梗塞・心筋梗塞を発症してしまいます。症状を自覚してから時間が無いという点がガンとの一番の違いであり、最も怖い点でもあります。

動脈硬化は生活習慣の改善で比較的予防できる疾患であり、早めにリスクを知ることによって予防・生活習慣の改善へ繋げて頂くことが大切です。

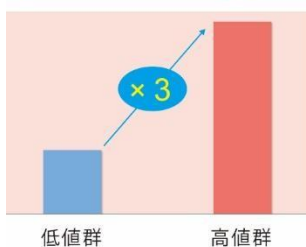
LOX-index[®]が高い場合

動脈硬化が進行する可能性が高く、そこから発展する疾患である脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まっている状態です。

LABやLOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等があります。LOX-indexが高い方は生活習慣の改善に取り組み、予防対策を始めましょう。

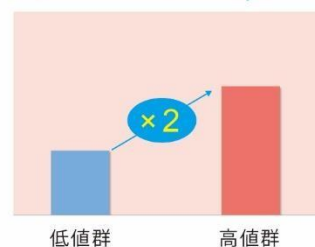
脳梗塞発症との関係

LOX-index 値が高いと発症率が3倍



心筋梗塞発症との関係

LOX-index 値が高いと発症率が2倍



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

こんな方におすすめです。

- ご家族に脳梗塞・心筋梗塞に罹った人がいらっしゃる方
- 高血圧・脂質異常症・糖尿病に罹っており、動脈硬化が気になる方
- 将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクが気になる方
- たばこを吸っている、もしくは吸っていた方
- 40歳以上の方



結果は専用の別紙報告書でお返しいたします※返却に10-14日いただきます

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載

LOX-index[®] 脳梗塞

氏名 サンプル タロウ 様 性別 男性 年齢 47歳

受診日 2023/4/1 カルテID 123456789

検査結果

LOX-index[®] 今回の測定結果 **736**

あなたの結果値と同等の方は **低リスク群** に分類されます。

(各)リスクの分類について

本検査では日本人約2,500名を対象とした約11年間の疫学研究(「田中タロウ」をベースに、特定の統計的手法(「パラメトリック法」)を用い4段階のリスク群を決定しています。

※「低リスク」群であっても疾患の発症可能性が否定されるものではありません。

日本人約2,500名を対象とした約11年間の疫学研究から、「低リスク」群の方は統計的に「中リスク」群以上の母集団に比べて脳梗塞及び心筋梗塞の発症率が低かったことが報告されています。
(脳梗塞発症率: 中リスク以上の母集団の約3分の1、心筋梗塞発症率: 最高四分位に比べて約2分の1)

また、LOX-index[®]の値が高くなると心筋梗塞の発症率が高くなる傾向が報告されており、「高リスク」群は母集団全体の内、LOX-index[®]の測定値の上位2.5%、「中高リスク」群はLABあるいはsLOX-1測定値の上位2.5%が属する群です。

動脈硬化が原因となる脳梗塞や心筋梗塞は、自覚症状がほとんどないまま進行し、発症に至ります。脳梗塞・心筋梗塞は生活習慣の改善などで予防することができる可能性の高い疾患です。

日頃から「バランスの良い食事や運動を中心とし、今まで以上に健康的な生活習慣を心がけましょう。」

今後もLOX-index[®]検査を定期的にご受検いただくことをおすすめします。

※ 脳梗塞・心筋梗塞の発症や動脈硬化の進行は、その他の検査結果や検査結果をもとに総合的に判断されるものです。
※ 本検査結果は医師の診断と併せてご活用ください。
※ 本検査結果は医師の診断と併せてご活用ください。

受診コード: 89DMGX07NP

個別測定項目

sLOX-1 今回の検査結果 **320** pg/mL

sLOX-1の値は前回と比べて減少しております。

動脈硬化は、特に加齢に伴って進行しやすくなります。また、高血圧や脂質異常症の増加、ストレスなどによりsLOX-1は高くなります。食生活の改善やストレスの解消などにより、健康的な生活習慣を心がけましょう。

受診日	sLOX-1 (pg/mL)
今回	320
前回	790
前々回	890

ラボ 今回の検査結果 **2.3** µg cg/mL

LABの値が前回と比べて減少しております。

動脈硬化は、特に加齢に伴って進行しやすくなります。LABの値を維持できるよう、今後も健康的な生活習慣を心がけましょう。

受診日	LAB
今回	3.3
前回	7.9
前々回	2017/4/1

さらに!

脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを減らすために、ぜひご活用ください。

検査結果を医師と共有し、今後の生活習慣の改善に役立ててください。

受診コード: 89DMGX07NP

検査結果に対する総合的なコメントや改善の方向性を提案

詳細な解説冊子付き

検査に関するお問い合わせ先

PreMedica

株式会社プリメディカ

TEL: 03-5776-1105 FAX: 03-5776-1106

フリーダイヤル: 0120-39-5119

(受付時間: 月～金曜日 10:00～18:00 祝日除く)

※日本語以外の対応はできかねます。御了承ください。